

高潮

気象庁
台風経路情報

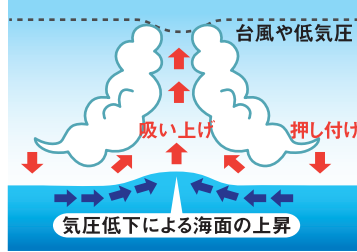
高潮ハザードマップについて

最大クラスの台風により高潮が発生した場合に想定される浸水範囲と浸水深を地図上に示しています。

高潮の起こる仕組み

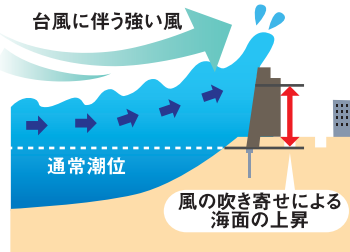
● 吸い上げ効果

台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。



● 吹き寄せ効果

台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。



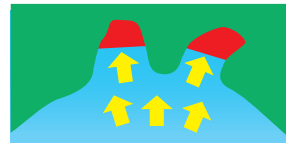
高潮の被害を受けやすい場所

● 河口の周り



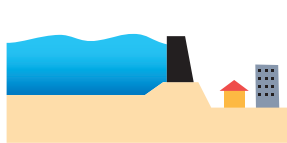
高潮の被害と河川の氾濫など、危険が重なる。

● 湾の奥



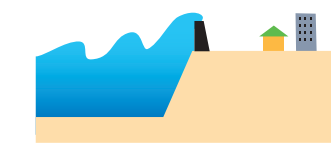
押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。

● ゼロメートル地帯



平均海面より低い土地は浸水の危険性が高い。

● 急に深くなる海底地形



押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

台風

台風の大きさは、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などがない場合に吹く可能性のある範囲)の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。

台風に関する情報の中では、台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

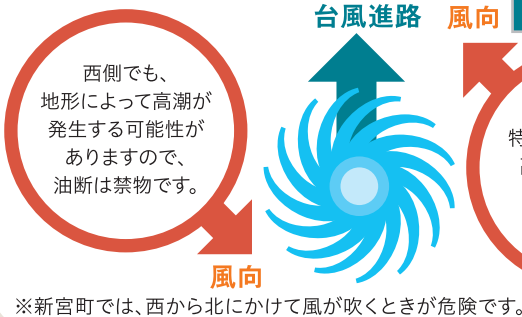
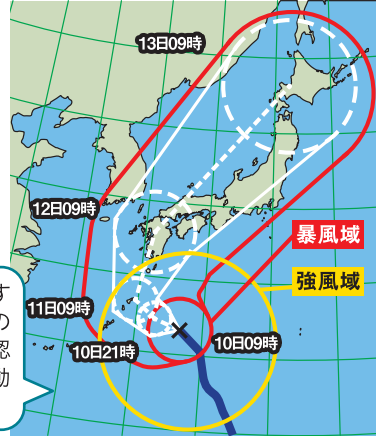
● 大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

● 強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上

台風情報の例



※新宮町では、西から北にかけて風が吹くときが危険です。

台風が発生しやすい時期は、台風の進路を事前に確認して、適切な行動をとります。

高潮災害時における避難のポイント

- 台風接近の数日前から気象情報や町からの情報に注意しましょう。



- 危険を感じたら早めに行動しましょう。

屋間に台風の強風域が近づいている場合や、夜間から明け方にかけて台風の強風域が最接近すると予想される場合は、町から避難情報を受け取ります。



- 海沿いへ様子を見に行くのはやめましょう。

高波にのみ込まれるおそれがあります。



ハザードマップの使い方

ステップ
1

自宅周辺の危険な区域を確認しましょう

各種ハザードマップで、自宅周辺の危険な区域を確認しましょう。浸水深が0.5m以上(床上浸水のおそれ)の区域や、土砂災害警戒区域内に位置している場合は、特に注意が必要になります。

ステップ
2

避難所を確認しましょう

自宅から近い避難所を確認しましょう。避難所は災害によって開設状況が異なるため、それぞれの災害に対応した避難所を選定してください。

ステップ
3

実際に避難所まで歩いてみましょう

確認した避難所までの道のりを自宅から実際に歩いてみて、危険箇所(転落防止柵がない水路、蓋がない側溝など)の確認や避難にかかる時間を確認しましょう。危険箇所を避けて、なるべく安全な避難経路を選定してください。

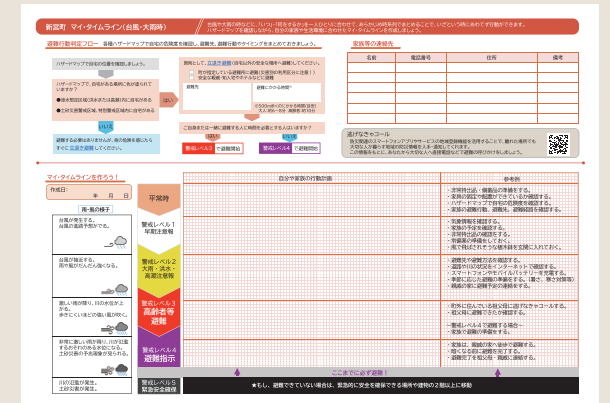


さらなるステップ >>> マイ・タイムラインに行動計画を書き込みましょう

マイ・タイムラインをつくろう

マイ・タイムラインとは、台風や大雨が接近しているとき、余裕をもって安全に避難するために、自分自身がとる防災行動を時系列で整理、とりまとめる行動計画です。

町などから発表される防災・避難情報(この冊子のうら表紙、3ページ)をもとに、いつ・どのタイミングで、どのような防災行動をとるのかを考え、自分の家族や生活環境に合わせたマイ・タイムラインを作成しましょう。



このポケット内には、

洪水・土砂災害ハザードマップ

津波ハザードマップ

高潮ハザードマップ

マイ・タイムライン

が入っています。